

2014.04.30

公益社団法人都市住宅学会関西支部との共同研究

「駅から始まるコンパクトシティ形成促進方策に関する研究」 2013年度の実施概要

・公益社団法人都市住宅学会関西支部の郊外・住まいと鉄道研究委員会（主査：関西学院大学角野幸博教授）とは、これまでに財団との共催で3回の研究交流セミナーを開催してきたが、2013年度は、継続的な取り組みとして共同研究を行うこととしメンバーを募り研究会を立ち上げた。

・大都市近郊エリアの市町村に存在する郊外住宅地については、人口減少・高齢化の問題が今後顕著となり、様々な課題への対応が求められている。大きな方向性としてコンパクトシティの形成が言われているが、これをどのように進めていくかその具体的な方策はまだ模索段階にある。本共同研究は、大都市近郊エリアの鉄道駅の駅そばに着目し、「駅から始まるコンパクトシティ形成」について実証的な研究を行い、さらに行政、民間（鉄道事業者など）と連携した具体化の方策を探ることを目的としている。

・都市住宅学会関西支部から大学、行政などの学会員17名の参加を得て、2013年11月から2014年3月までの間に下記のように6回の研究会を開催し、さらに参考となる事例調査も行った。

・2013年度は研究課題の整理、検討の枠組みづくりにとどまったが、2014年度も引き続き共同研究を実施し、より具体的な研究を行っていく予定である。

第1回研究会 2013年11月21日（木）18：00～20：00

- ・研究会の趣旨、進め方
- ・話題提供（1）駅前マンションに高齢者が集まっているか？
～西神ニュータウンの場合～（大海 一雄 氏）

第2回研究会 2013年12月19日（木）18：00～20：30

- ・話題提供（1）UR西日本支社NTの変遷 その1
～歩行者系空間の変遷を中心に～（瀬渡 比呂志 氏）
- ・話題提供（2）商業集積（ショッピングセンター）の変遷（郷田 淳氏）
- ・国の都市再構築戦略の動きについて（塚本 貴昭氏、坂田）

第3回研究会 2014年1月30日（木）18：00～20：30

- ・話題提供（1）南千里丘の街づくり ～市民の立場から～（前田 雅信 氏）
- ・話題提供（2）大阪都市圏の郊外住宅地における
 - ① 住宅地内の店舗（街角施設）の発生要因（2005）
 - ② 住民の住環境に対する評価と意識（2008）

③ 周辺地域との地域資源共用の可能性 (2013) (伊丹 康二 氏)

- ・都市再生特措法改正の動きについて (坂田)
- ・名古屋市の駅そばまちづくりについて (坂田)

第4回研究会 2014年2月13日(木) 18:00~20:30

- ・話題提供(1) UR西日本支社NTの変遷<その2> (瀬渡 比呂志 氏)
- ・話題提供(2) 阪急電鉄*駅比べ (岡 絵理子 氏)

第5回研究会 2014年3月7日(金) 18:00~20:30

・検討テーマの提案と論点の整理

- 岡 絵理子 : 個の移動手段としての鉄道沿線駅利用に関する研究
- 瀬渡 比呂志 : URの関西でのNTの計画論的な整理
- 広原 盛明 : 大都市圏における駅タイプの分析、再編・誘導方策の提案
- 大海 一雄 : 郊外住宅地のコンパクトシティ形成促進策(神戸電鉄沿線)
- 酒井 裕一 : 駅のタイプにふさわしいコンパクトシティ形成の方向性と促進策
- 壽崎 かすみ : 駅そばコンパクトシティは何があれば成立するか(公共施設など)
- 近野 正男 : 人口減少と少子高齢化に伴う私鉄の経営戦略の再構築
- 松村 慎吾 : 超高齢時代のまちづくり~「地域包括ケア」を具体化するまちとは~
- 郷田 淳 : 駅 コンパクトシティ 商業機能(生活利便機能)
- 戸田 光学 : 駅周辺への集約と住民のライフスタイル、志向性の要因分析
- 三本松 道昭 : 駅周辺と外縁部、住民・事業者・行政の相互連携によるコンパクトシティ形成の枠組みの提案
- 坂田 清三 : 郊外駅そばのコー・ワーキング・スペースの成立可能性

第6回研究会 2014年3月25日(火) 18:00~20:00

- ・事例視察報告
- ・研究課題の整理と検討、政策提言の方向性

事例視察

- 2014年2月28日(金) 京王電鉄 沿線価値創造部
- 2014年3月 3日(月) 越谷レイクタウン
- 2014年3月 4日(火) やぼろじ(国立市)
(株)コプラス、(株)御用聞き

ヒアリング

- 2014年2月28日(金) 国土交通省 都市局 都市計画課